

人とまちが育み合う 飯南学

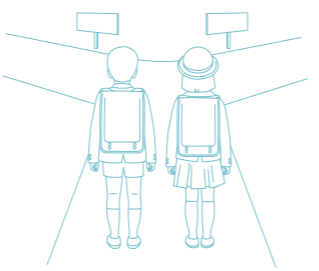
人が輝くことで、このまちが輝く
その環が広がり、巡る飯南町は、
人が育ち、つながり、新たな価値が生まれる場所



1・2 地域の人と世代を越えて交流を深め、地元の自然や伝統に触れながら学びを深めていきます。
3 「キャリア・パスポート」を活用し、子どもたちの成長につなげます。

飯南学02

キャリアパスポート



保小中高一貫教育を進めており、保育所から高等学校まで、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫した「飯南町キャリア・パスポート」を活用しています。保育所・学校・家庭・地域で学んだことが、子どもたちの「生き抜く力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。「飯南町キャリア・パスポート」には、そうした願いを込めています。

飯南学03

県立飯南高等学校「生命地域学」



飯南高等学校には、東京・大阪をはじめとする全国各地の中学校から生徒が集まっています。刺激しあえる仲間とともに、自らの将来や地域の今後を考えて、多様な資源に興味関心を持つことで、他者と協働する力を身に付けます。まち全体が学びのフィールドとなり、課題形成・解決能力をはじめとした、生きる上で大切な、さまざまな力を育成しています。



活動ポイント

グループでの体験活動や話し合いを多く取り入れている生命地域学。他者と協働することで、自らの意見を相手に分かりやすく伝えるための発信力を身に付けます。また、異なる意見を受け入れることで、生徒の価値観を広げます。



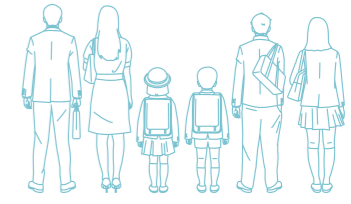
中山間地域ならではの資源を活かし、学びを深めます。(写真：赤名湿地帯の探索)



地域の課題と具体的な解決策を自ら考え、行動につなげます。(写真：地元企業と開発したパブリカジャムを販売する生徒)

飯南学01

地域づくりは人づくりから



まち全体が学びの場であり、町民が主役の飯南町。だからこそ、人づくりにフォーカスを当てた「飯南町人材育成アクションプラン」や「飯南町人材育成基本方針」といった計画に基づいて、町民が一体となって、まちづくりを進めています。考え方のプロセスを学び、対話力・解釈力を身に付けたり、まちの魅力を発見・発信したりする「共創デザインスタジオ『ヒトカラーhitocolor』オンライン」をはじめ、まち独自の取組イベントに、多くの町民が参加しています。



はじめは「耳を澄ませて聴く」こと。町民が集まり、対話することで、ヒト・モノ・コトがつながり、新たなアイデアが生まれます。

地域で育てる飯南式教育

飯南高等学校は「生徒の主体性」を大切にしています。「鵬雲祭」(学園祭)などの学校行事の運営を生徒が行うだけでなく、「生命地域学」などの授業でも、生徒が主体的に飯南町の課題解決に取り組んでいます。これらは、地域のみなさんの協力があつてこそ取組です。

魅力化コーディネーターとして高校と地域をつなげたり、生徒と活動したりするなかで、生徒が成長する機会は校内だけでなく、地域にもあると思っています。教職員だけでなく地域のみなさんも背中を押してくれる学校で生徒の「主体性」を育みます。



飯南高等学校 魅力化コーディネーター 三島 啓太 主任

